

むらやま・学校

～GO-TO TOGO～

第3号



編集・発行
村山市教育委員会
学校統合推進室

統合 タイムズ

村山市の西部地区に、令和10年4月開校予定の義務教育学校「葉山学園」。

「義務教育学校」は、小学校や中学校と同様の、学校の種類（校種）の一つであり、平成28年4月施行の「改正学校教育法」で、「新しい学校種」として新設・制度化されました。

「中一ギャップ」の解消をはじめ、さまざまメリット（長所）があり、国でも、学校制度の多様化や弾力化、そして中高一貫教育を推進している流れもあり、今、全国的に導入が進んでいます。小中の間に継ぎ目・境界がない、いわば9年間の“シームレス”な学校です。

現在、葉山中学校を義務教育学校としてリノベーション型の改修（※）をするために準備を進めています。よりよい校舎整備のために、7月から8月にかけて、先進校の視察や勉強会を集中的に行いました。校舎整備の設計に関するアウトライン（概要）は、9月いっぱいまで終える予定で進めています。ご意見等ある方は、是非、事務局にお寄せください。

※「改修」にはリフォーム型とリノベーション型があります。前者は「修繕・原状回復」で、後者は「機能・価値の再生」を目指して行われる大規模な改修のことで、間取り変更等含め、建物全体の性能や価値を向上させることが特徴です。

TOP INFORMATION (Topics)

よりよい校舎整備に向け



山形市の最新の小学校（市立西山形小）の視察（8/19（火））～ほかに新庄市立明倫学園、上山市立きらり学園なども現地視察しました。

～リノベーション改修の研修・勉強会～



東京都市大学の屋敷先生・山口先生を講師に迎えた検討会（8/18（月））～葉山中学校の現場で教室を一つひとつ巡りながら改修箇所を検討。7月末も開催。

統成人語

「二刀流」という言葉は大谷翔平選手の活躍で、今や日常的に耳にする言い方となった。英語ではツィウエイ・プレイヤールと言う。投打両方に秀でた選手という意味だ。元々、左右両手に刀を持ち戦う剣術スタイルのことだが、転じて「異なる二つの手段・分野で活躍すること」をも指す▼先日、県吹奏楽コンクールの新聞記事で「打楽器演奏、七刀流」という見出しを目にした。七種類の打楽器を一人で演奏するという。プロのマーリンバ奏者に尋ねたら、打楽器のパートでは複数楽器の掛け持ちは、割と普通らしいが、「でも、七つは多いかな」と。パークセッション・ライブラリーというウェブサイトに、百を超える打楽器が紹介されており、その多様で奥深い世界が垣間見える▼今、いろんな分野・業界で「二刀流」が注目されている。本業以外の分野を学んだり経験したりすることで複数のスキルや知識が得られ、新たな価値やアイデアの創出につながるのとが期待できるかららしい▼片や「〇〇兼農業」も熱い。農家は多くの作業工程が必要なことから、敬意を込め「お百姓」と称される。言ってみれば百刀流農業に従事することで様々な力が付き、人生も豊かになる。人は無限の可能性を秘めており、能力開発次第では「超刀流」もあり得る▼農業が核の「二兎追う流」人生は、きつと、ウエルビーイングにつながる。新しい学校での学びにも生かしたい。

西部(葉山中学校区)

義務教育学校の特徴

～メリットと課題～

集団性
社会性
社会力

小-中の接続

学習・生徒指導が円滑に

継続性

反復・丁寧
一定規模より多くの先生で
全員をみる

1～9年生

幅広い異学年交流

中1ギャップが
緩やかになる一定人数の児童・
生徒数の在籍

【メリット】「義務教育学校」の最大のメリットは、従来の小中6-3制の9年間をひとつの「学びの場」とし、系統性・連続性に配慮した教育が可能となることであり、それゆえ「中一の壁」や「小中ギャップ」が緩和・解消されるところにあるとされています。

◎【学年の区切り】も、「6-3制」のみならず「4-3-2制」など自由に区切ることが可能です。葉山学園では、「前期4年-中期3年-後期2年」のブロックに区切り、指導体制を組む予定で準備を進めています。また、1年生から9年生まで、幅広い異学年交流などもできるようになり、精神的発達への好影響があるとされています。

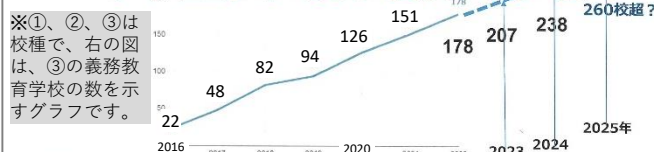
△【課題(デメリット)】もないわけではありませんが、最小に抑えられるよう、様々な工夫をしながら進めます。

(参考1) 義務教育学校について

「第3の校種」として、8年前の平成28年(2016年)に制度発足以来～



今、全国的に増えています



趣旨 学校制度の多様化・弾力化

(参考2)

義務教育学校

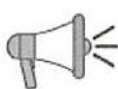
山形県内では



■以下の情報は、市報「むらやま市民の友」(令和7年9月1日号)に掲載しました。

学校統合だより

【西部地区:令和10年/東部地区:令和11年】



葉山学園の校歌に関するアンケートにご協力を！

問合せ/学校教育課庶務係 ☎内線323

このコーナーでは 令和10年、11年の学校統合に向けた準備の様子を随時お知らせします。

西部地区統合準備委員会では、義務教育学校の校歌や制服のあり方、教室の配置などの設計について検討を進めています。

【校歌アンケート】

義務教育学校〈葉山学園〉の校歌選定についてのアンケートを実施します。(9月10日(水)まで) 皆様のご意見をお聞かせください。

アンケートは(↑)
こちらから現在の葉山中校歌は
(↑)こちらから

《むらやま統合タイムズ》

なお、統合に向けた準備委員会の詳細については、統合準備委員会が随時発行する機関紙(ニュースレター)＝「むらやま統合タイムズ」をぜひご覧ください。

統合タイムズは
(↑)こちらから